

風土記の丘の美術展、 10年目の夏

本名 恵子

(郡山市小学校造形教育研究会会長・小泉小学校校長)



《展示風景》第1回↑ 第2回→



《展示風景》第3回～第9回

「23年度は、風土記の丘の美術展が10周年を迎えます。子どもたちと先生方で何か記念作品を考えませんか?」「各学校ごとに小さなパーツをお願いして、大きな一つの作品にしたら?」「イベントなども企画できると楽しいですね!」23年2月初旬に開催した小学校造形教育研究会役員会「風土記の丘の美術展10周年記念イベント」の話し合いは、大いに盛り上がった。

しかし・・・3月11日午後、東日本大震災が発生し、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たちが楽しみにしていた企画は、諦めざるを得ない状況となった。地震による建物被害に加え、放射線による影響も深刻であった。安全確保のため、子どもたちの屋外活動は制限され、中止となった屋外での行事もたくさんあった。

東日本大震災後、郡山市立美術館は休館。「風土記の丘の美術展」の開催が出来ないかもしれない。不安は大きくなるばかり・・・。記念行事は出来なくても、こんな時だからこそ、子どもたちの思いを十分に表現させたい!!子どもたちの笑顔が輝き、心が癒される「風土記の丘の美術展」を是非開催したい!!そんな願いを受け入れて下さった郡山市立美術館の館長様・学芸員の皆様・スタッフの皆様の再オープンに向けてのご苦勞は、大変であったろうと思う。休館中も、復旧に向けての作業や再オープンの後の準備に加え、避難所の応援、学校への出張授業など様々な業務に携わっておられた。私たちのわがままいっぱいの願いを「大丈夫です!!郡山に避難してきている区域外就学の皆さんの作品も一緒に飾りましょう。」笑顔で新たな提案をし



《展示風景》第10回

風土記の丘の美術展

郡山市内の小学生が図工の授業で取り組んだ作品を夏休み期間中、郡山市立美術館に展示する展覧会です。